



有料職業紹介 つしま紹介所 (0567) 26-1281
 訪問介護 ナイス・ケア (0567) 26-3699
 通所介護 ナイス・デイ (0567) 26-1282
 宅老&託児 ナイス・ホーム (0567) 26-1282
 E-mail info@s-o-s.co.jp
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>
 (有)サポート・ワン・サービス 愛知県津島市愛宕町4-113 〒496-0036
 代表TEL:(0567) 26-3921 / FAX:(0567) 26-3922

vol. 70 (平成18年 6月10日発行)



母の日。ひとり一人に、心をこめて、折り紙で花のプレゼントを作りました。いつも色々な知恵や知識を教えてくださいありがとうございます。

ナイス・デイ利用状況(定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
10名	10名	10名	10名	10名	10名	8名



5月の最終週に、利用者さんひとり一人の鉢を作り、トマトの苗を植えました。何かを育てる喜びを持てるのは嬉しいですね。

ナイスな勉強会・・・「ガイドヘルパー養成研修報告1(1~3)」

当社では、今後の方針として、障害者へのサービスも充実させていきたいと考え、従事者研修の中にガイドヘルパー研修も組み込みました。5月8日~11日に参加した研修報告です。
 今回は、研修の主だった流れと、率直な感想を報告します。2・3回目では、それぞれで学んだことを再度整理してみたいと思います。

- 「視覚障害者研修過程」
- 5/8 講義(制度と業務、介助の基礎知識、障害・疾病の理解)
 - 実習(屋内移動介助の実習)
 - 5/9 講義(ガイドヘルパーの制度と業務、移動介助の基礎知識、)
 - 実習(屋外の移動介助・応用技術)

- 「全身性障害者研修過程」
- 5/10 講義・実習(重度したい不自由者における障害の理解、介助に係わる車イス及び装具の理解、姿勢保持・コミュニケーションについて、事故防止に関する心がけと対策)
 - 5/11 講義・実習(移動介助の方法、生活行為の介助)

感想
 この研修で、障害者に対するヘルパーと高齢者に対するヘルパーの違いを学ぶことができました。
 普段は係わることの少ない、視覚障害者や全身性障害者の姿を体験できたことはとても貴重なことです。どちらの障害に対してもいえることは、私たちヘルパーが、「どんな些細なことも見逃さない。」ということ。その中でも、一番大切なのは、基本に添った臨機応変な介助と、利用者さんと楽しくコミュニケーションを取ることだと思います。
 これらは、普段から行っているヘルパー業務の中でも同じことだと思います。今回の経験が、日々の業務に少しでも生きるように心掛け、今後も頑張りたいと思います。(N)



ケアマネ一年生?? 第6話

注:このコーナーに掲載される話はスタッフの実話です。

実習も大詰めを迎えた6・7日目。実習中で一番嬉しい出来事があった。最大の難関である「課題提出」をクリアし、あとは、実践レベルで必要になる、ケアマネージャーとしての価値観やコミュニケーション技術などの習得。
 文章にすると、とても単純なことで、会話なんて誰にでも出来るし、価値観なんてちゃんと分かっているわい！って思うこともあるけれど、これがものすごく難しい&めっちゃ重要！
 講義中に、「計画を立てる際には、自分が利用者になったつもりで、自分自身の生活をどうありたいかを考えなさい。」と言われてしまった。(前にも書いたけど、「具体的な希望があるからって御用聞きのケアマネにはなるな。」とも言われている。)
 当事者となった人がどのような心境に陥りやすく、また、どのような希望や要望をもって生活できるように関わられるのかは、ケアマネ次第(?)だとか。
 介護保険を上手く組み立てて、色々なサービスを適切に利用してもらうことで、希望や要望を具現化できて、利用者さんの人生が大きく変わる可能性もある。その大前提として、いかに本音のコミュニケーションを図ることができるかが勝負！
 って言ってもねえ、……。介護保険の要介護度認定を受けている人達の生活歴は、(当たり前のことだけど)私たちケアマネ業務に就く世代の歴史よりも、うーんと長いのですよ。人生の大先輩なんです。
 その人達の本音を聞くと考えただけでも、生活習慣やら何やら、きつと想像を絶することばかりの中、私のような年齢の者に、本音で話してくれるわけがない。と、なんだか、絶望的になってしまった。
 そんなことを考えながら、サービス担当者会議の演習を開始。グループ6人の提出課題の中で一番出来の良かったものを選び、その事例にあわせて設定される。私は、訪問看護婦の役に徹することになった。
 演習が終わった後、グループ内で感想を発表し合う。利用者役の人が、私に対して「きちんと目を見て話してくれたから、思わずこの人なら信じれると思った。」と言ってくれた。なぜか、それがとても心に残ったのだ。

ナイスな手作業

～ 調理担当パート2 ～

先月に続け！！と、頑張っておられる利用者さんに、今回は「焼きそば」の調理をお願いしました。利用者さんの中には「調理スタッフが、徐々に手を抜く方法を習得したなあ～」と笑って試している方もあるかな(?)
 でも、自分で作ったご飯をみんながおいしく食べてくれるのってとっても嬉しいんですよ！



～ このトイレ、あそこのトイレ ～

「出掛けようと思うけど、どういうトイレがあるのか心配でなあ・・・。」という利用者さんとの会話から、この地域にある施設やお店などのトイレを探索し、掲載することになりました。(注:トイレの良し悪しを評価するための掲載ではありません。)
 今回は、木曾三川公園 です。



新しくなったトイレには、多目的水槽や着替え台も設置されていましたよ。



編集後記

先日、既存建物東側の土地の地質調査が開始されました。小規模多機能ホーム+自主事業用の施設を新しく建てる計画が始まっているのです。



この4月に新設された小規模多機能ホームのシステムは、調べれば調べるほど、今現在提供しているサービスとそっくりで、今更、法の基準に当てはめなくてもいいのではないかという意見も出ました。しかし、今まで念頭に置いてきた「地域密着」という概念が、せっかく制度化されたのであれば、多少のデメリットが発生したとしても、その制度に当てはめてみることで初めて意味を深められるのかもしれない。津島市が10月からの地域密着サービス許可を行うために6月中の申請を公募している。さあ、忙しく(楽しく)なるぞ!(H)